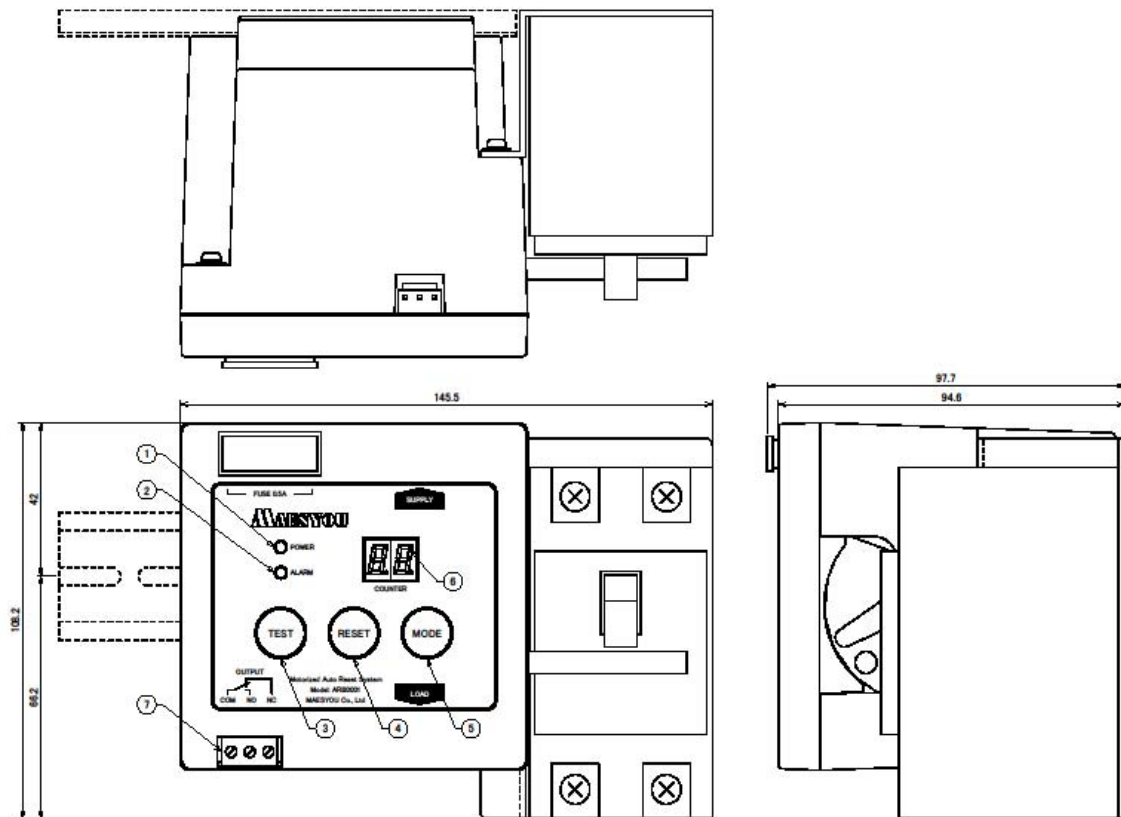
型式 ： ARB0001

オートリセットブレーカ （DM52版）

目次

履歴

改定日	内容
H23.04.13	新規作成

Ⅰ　各部の説明

① powerﾗﾝﾌﾟ　電源が供給されている時に**点灯**します。

電源が供給され、再投入待機時に**点滅**します。　※1.再投入待機時間設定可能

② ALARMﾗﾝﾌﾟ　瞬断判定(再投入後、3秒以内でﾄﾘｯﾌﾟした時)時に**点灯**します。　※2.瞬断判定時の再投入回数は初期設定で1回、3回の選択可能

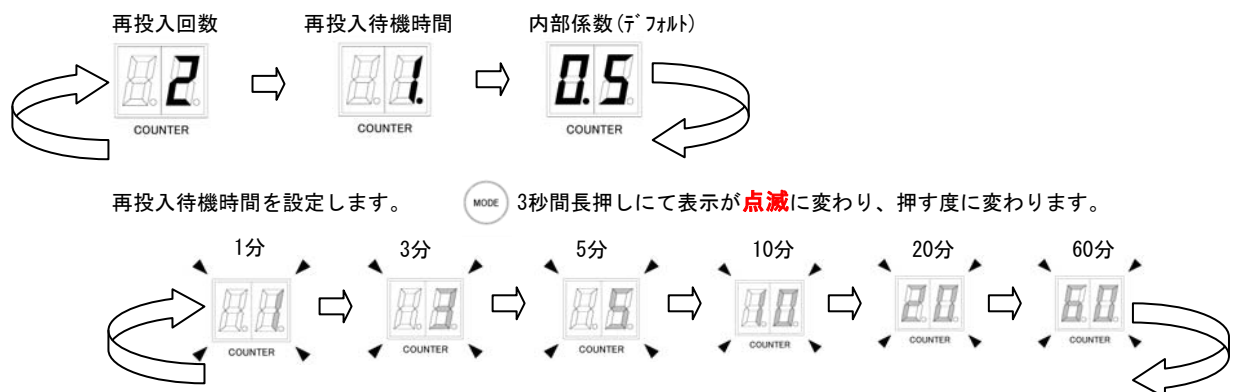
間欠判定(再投入後、3秒以上でのﾄﾘｯﾌﾟが10H以内で5回ﾄﾘｯﾌﾟした時)時に**点滅**します

③ TESTﾎﾞﾀﾝ　再投入動作を1回します。

TESTﾎﾞﾀﾝでの動作ではｶｳﾝﾄしません。

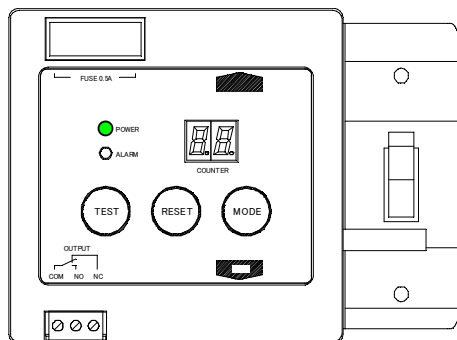
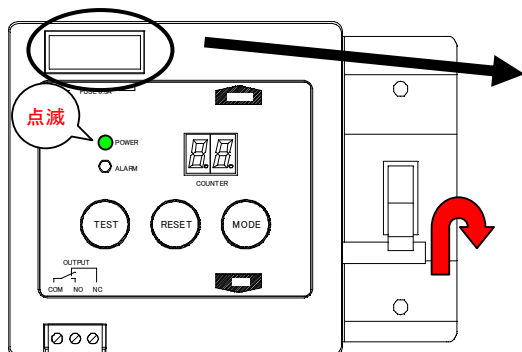
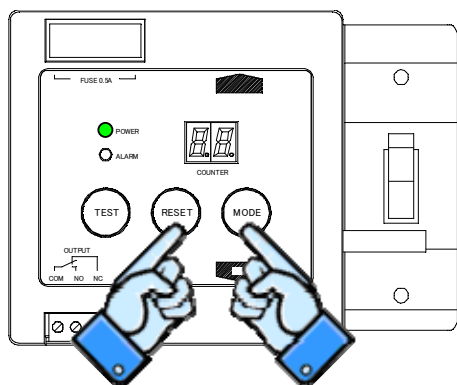
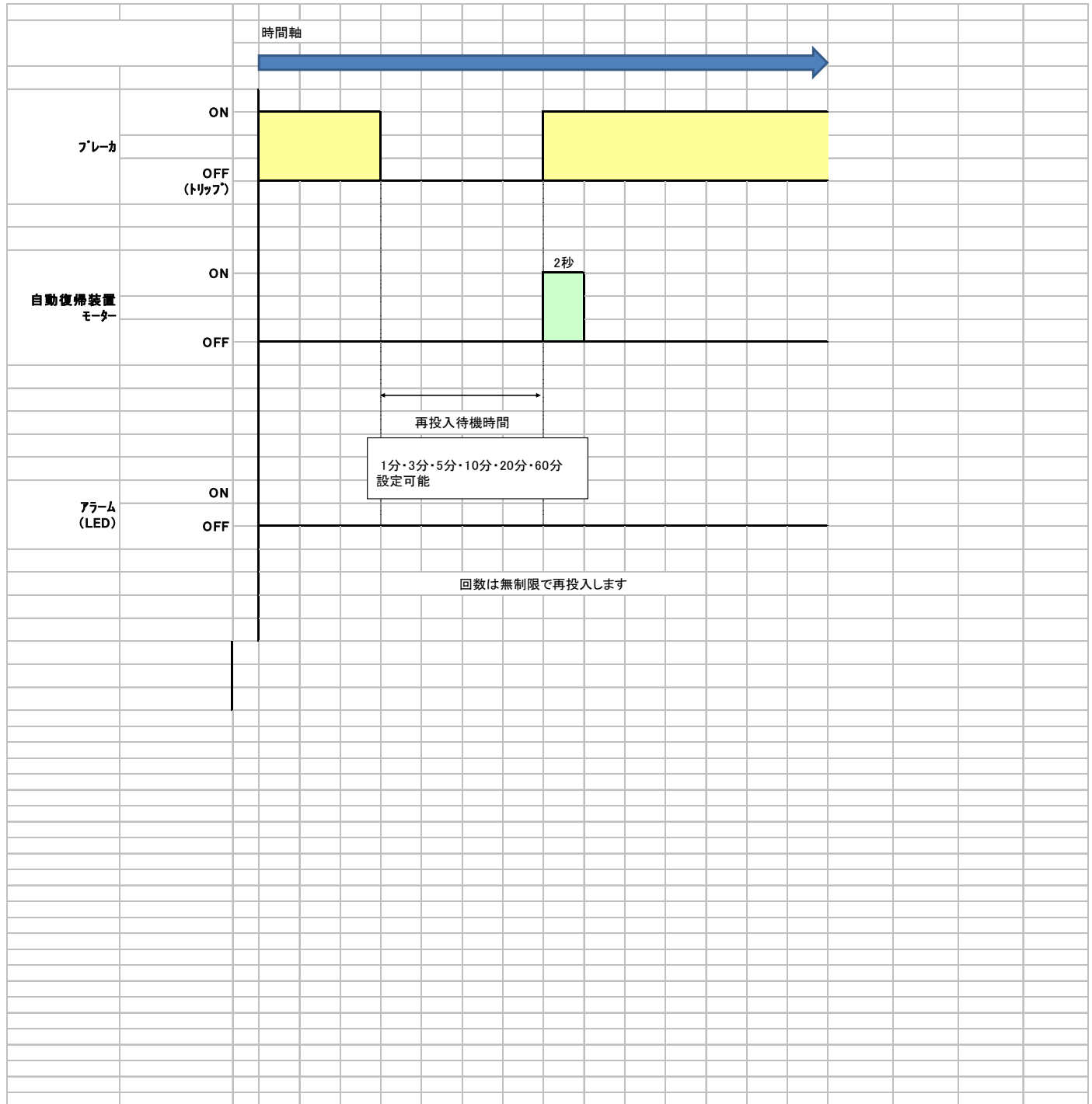
④ RESETﾎﾞﾀﾝ　RESETﾎﾞﾀﾝのみ　---　ALARMﾗﾝﾌﾟﾘｾｯﾄ　　RESET+MODEﾎﾞﾀﾝ　---　再投入ｶｳﾝﾀｰﾘｾｯﾄ

⑤ MODEﾎﾞﾀﾝ　ｶｳﾝﾀｰ表示の切替をします。押す度に**ﾋﾟﾘｵﾄﾞに位置**が変わります。

再投入待機時間を設定します。　MODE 3秒間長押しにて表示が**点滅**に変わり、押す度に変わります。

⑥ ｶｳﾝﾀｰ　通常時は再投入回数を表示します。

⑦ ALARM出力　ALARMﾗﾝﾌﾟ表示時に無電圧接点出力(C接点)します。

Ⅱ　基本動作の説明

① オートリセットブレーカが正しく接続されたことを確認し、ブレーカを「入」にします。
② ブレーカの一次側に通電し、オートリセットブレーカの「POWER」LED（緑色）の点灯を確認。

③ ブレーカを「切」にするとオートリセットブレーカの「POWER」LED が点滅を始めます。
設定時間後にオートリセットブレーカのレバーが上下し、ブレーカを「入」に復帰します。
【注意：「POWER」LED 点滅時は、レバーに指を挟まれないようブレーカから離れてください】

④ ブレーカが復帰するとオートリセットブレーカのカウンタが加算されます。
「RESET」ボタンと「MODE」ボタンを同時に押してカウンタ値をクリアしてください。

Ⅲ　通常動作のﾀｲﾑﾁｬｰﾄ

Ⅳ　瞬断判定動作のﾀｲﾑﾁｬｰﾄ

再投入回数　1回、3回は工場出荷時に設定可能

再投待機時間　1分・3分・5分・10分・20分・60分はMODEﾎﾞﾀﾝで設定可能

再投入回数3回

時間軸

ﾌﾞﾚｰｶ ON / OFF (ﾄﾘｯﾌﾟ)　3秒以内　3秒以内　3秒以内

自動復帰装置 ﾓｰﾀｰ ON / OFF　2秒　2秒　2秒

再投入待機時間　再投入待機時間　再投入待機時間

1分・3分・5分・10分・20分・60分設定可能

ｱﾗｰﾑ (LED) ON / OFF　点灯

再投入回数　3回

再投入回数1回

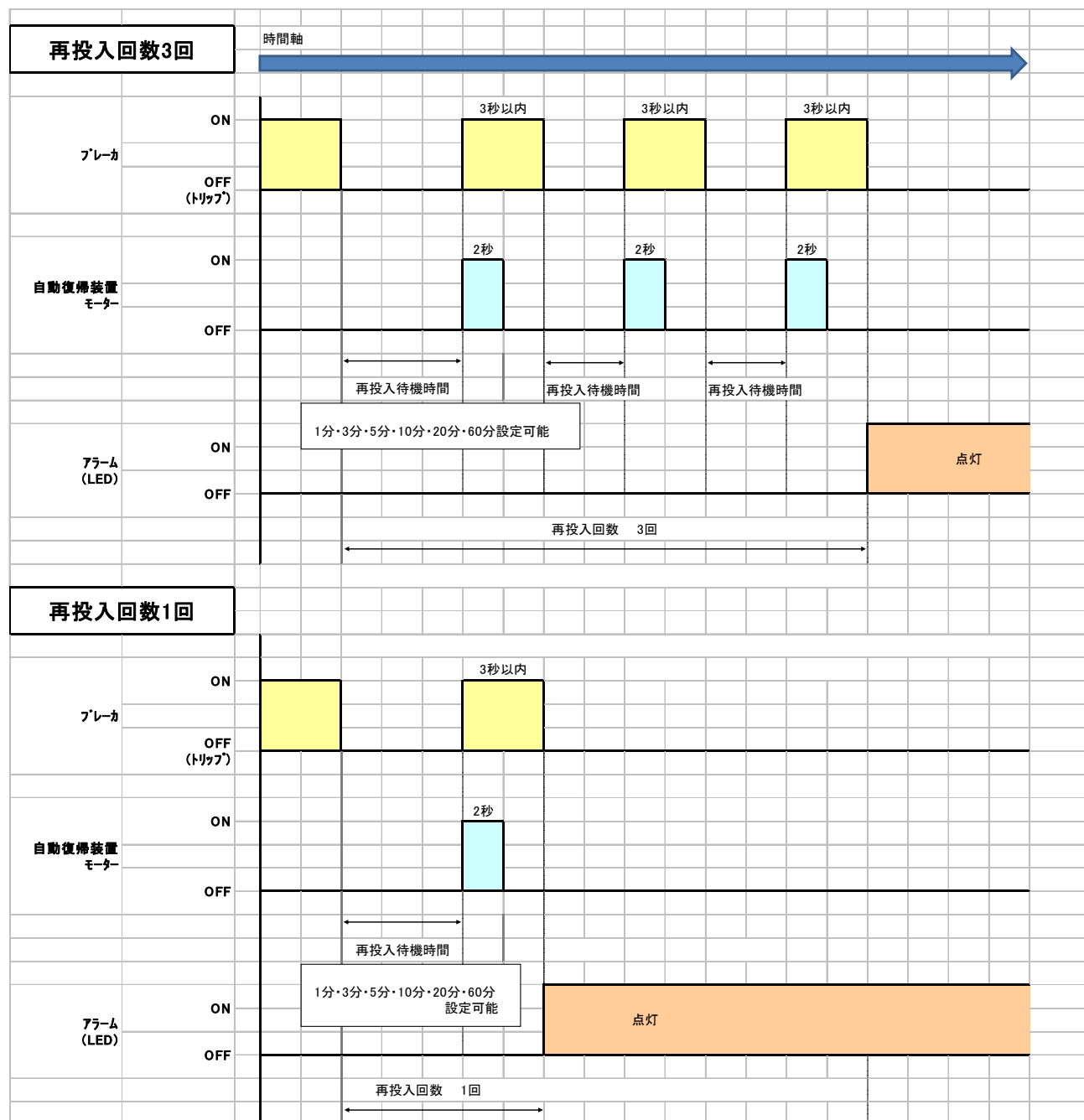
ﾌﾞﾚｰｶ ON / OFF (ﾄﾘｯﾌﾟ)　3秒以内

自動復帰装置 ﾓｰﾀｰ ON / OFF　2秒

再投入待機時間

1分・3分・5分・10分・20分・60分
設定可能

ｱﾗｰﾑ (LED) ON / OFF　点灯

再投入回数　1回

負荷に何らかの原因があった場合ﾌﾞﾚｰｶ投入後、瞬断します。その場合は瞬断判定にて再投入動作を中止し、ALARM表示します。

V　間欠判定動作のﾀｲﾑﾁｬｰﾄ

10時間内、再投入回数5回は変更できません

再投待機時間　1分・3分・5分・10分・20分・60分はMODEﾎﾞﾀﾝで設定可能

時間軸

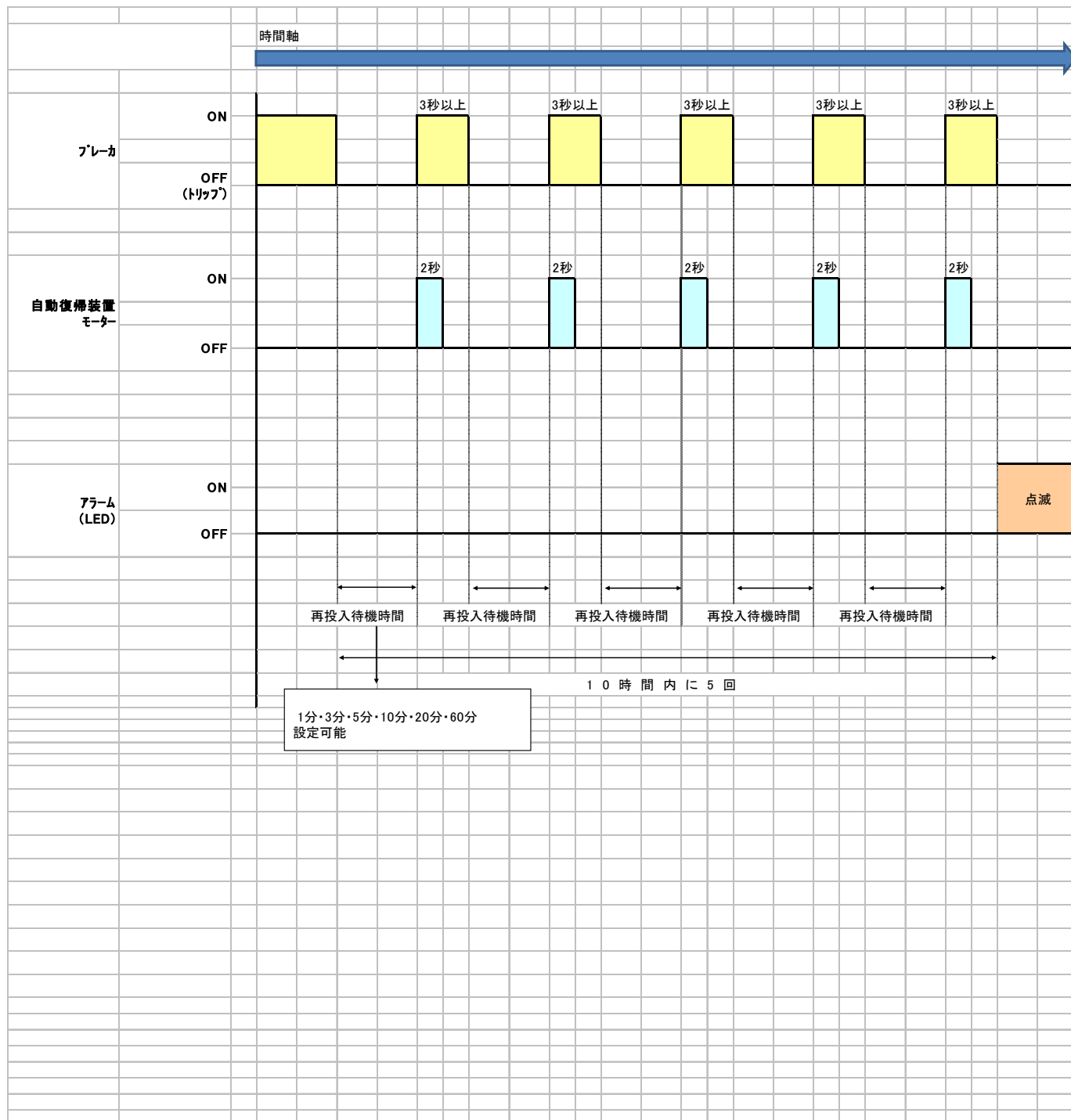
ﾌﾞﾚｰｶ　ON / OFF（ﾄﾘｯﾌﾟ）　3秒以上　3秒以上　3秒以上　3秒以上　3秒以上

自動復帰装置 ﾓｰﾀｰ　ON / OFF　2秒　2秒　2秒　2秒　2秒

ｱﾗｰﾑ（LED）　ON / OFF　点滅

再投入待機時間　再投入待機時間　再投入待機時間　再投入待機時間　再投入待機時間

１０時間内に５回

1分・3分・5分・10分・20分・60分
設定可能

微量な漏電などはﾌﾞﾚｰｶ投入後、瞬断しない場合があります。その場合は間欠判定にて再投入動作を中止し、ALARM表示します。